

2012 アートマイル 報告書

日本学校名[金沢市立額小学校] 担当教諭名[鍛冶 孝子] (6年2組 30名)
 交流相手国[オーストラリア]
 海外学校名[Buninyong Primary School] 担当教諭名[Narelle Sullivan]

■実施教科・時間数について教えてください。

実施教科・時間数	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した時間 (総合は外国語活動、環境 など内容が分かるように 必要に応じて行を追加して ください)	総合	金沢を知り、日本を知り、世界を知ろう	40
	英語	Unit7 Writing A Letter / Unit 8 Our World	8
	国語	「平和」について考える	16

■作品について教えてください。

題 (テーマ)	Festival
絵に込めたメッセージ	日本とオーストラリア、国が違っていても遠く離れていても、同じ空の下にいる仲間。それぞれのお祭りや文化は違うけれど、その違いを理解し合って一緒に楽しめるような、平和な世界をつくっていききたい。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> 英語の得意不得意、絵の得意不得意に関係なく、どの児童も意欲的に取り組み協力し合うことができ、壁画製作を通して大きな達成感・満足感が得られた。 社会の歴史学習や国語・英語の学習と関連させ、国際理解・協力の視点から、児童が今後の自己の生き方を見つめることができた。 国際理解を通して、国だけでなく性別・年齢・性格など様々な視点から他者との関わりを見直すことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 構図の相談や日本側のお祭りの紹介はできたが、製作の様子を伝えたり相手側のお祭りについて質問したりする機会を設けることができなかった。テレビ会議の日程調整を早めに計画的に行う必要があった。また、フォーラムをもっと有効に利用すべきであった。 英語の学習と併せて相手校に手紙を書いたが、時期が遅く、相手校に着いたのが卒業式当日であった。互いにやりとりできるよう日程を調整したい。

■アートマイルの活動を周りにお知らせしましたか？ 周りの反響はどうでしたか？

担当教諭や子どもたちによる広報	校内・保護者や地域の方からの反響
<ul style="list-style-type: none"> 学級通信で、製作や交流の様子を保護者に伝えたりお祭りを紹介する映像の URL を知らせたりした。 テレビ会議を行う際には、職員朝礼で日程を全職員に知らせ、参観を募った。 完成した壁画を鑑賞し、オーストラリアのお祭りについて詳しく調べたことをもとに、壁新聞にまとめて絵と併せて廊下に掲示した。 卒業式の会場にテントアートを飾り、完成した壁画を保護者・来賓の方々にも見て頂いた。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者からは、懇談会の折に「おもしろそう」「世界に目を向ける良い機会」「子どもが家でも話している」「壁画の完成が楽しみ」との感想を頂いた。 校内の先生方から、活動の進行や制作の様子を度々聞かれた。テレビ会議の際には、休み時間や空き時間などを利用して参観に来られる先生が多数いらした。 他クラスの児童が、休み時間に足を止めて壁新聞を読んでいった。特に6年1組・3組の児童は、自分たちが交流したヨルダン・インドと比べながら読んでいた。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科
導入	4～6月	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の6年生がアートマイルプロジェクトで製作した壁画を鑑賞した。 ・星陵大の清水先生と大学生の協力を得て、「世界がもし100人の村だったら」のワークショップを開いた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の様子を思い出し、とても興味を示していた。自分たちはどこの国とやるんだろう、とても楽しみにしていた。 ・アートマイルプロジェクトによって国際理解・協力が繋がることを知り、より関心を高めていた。 	総合
情報収集	6～7月	<ul style="list-style-type: none"> ・地元・金沢の祭り「百万石まつり」について調べ、百万石まつり宣伝するミニ新聞を作った。 ・日本各地の様々な祭りについて調べ、その良さや魅力が伝わるように、プレゼンテーションソフトで1枚のスライドにまとめた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年提灯行列に参加しているが、その歴史や意味、細かなイベントまでは初めて知ったという児童が多かった。 ・伝統的なものから歴史の新しい祭りまで、色々な祭りが日本各地にあることを知り、実際に行ってみたい、と祭りに対して関心を高めていた。 	総合
テーマ検討	9月	<ul style="list-style-type: none"> ・壁画にどの祭りを描きたいかを相談し、グループごとに描く日本の祭りを1つ決めた。 ・構図のアイデアをグループごとに考え全員に提案し、それをもとに構図の案を1つにまとめた。 ・完成した構図案をテレビ会議で提案し、相手校の賛成を得て構図が決定した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本らしさや日本の良さが伝わる祭りを描きたい、という意見が出、その意見に賛成しどの祭りを描くかを選んでいった。 ・グループで案を作り出すのに苦心していたが、「国は違っても同じ空の下の仲間」という案には全員が賛成の声を上げ、その案のもとで構図を創り上げた。 ・原案を作った4人が英語で相手校に提案した。相手校から「Pretty!」と賞賛され、とても満足した様子だった。 	総合
制作	10月	<ul style="list-style-type: none"> ・各グループで下絵のスケッチ、彩色した原案、キャンパスに下書きの順に進めた。 ・キャンパスの彩色は、1日がかかりで行った。2組に分けて、作業がスムーズに進むようにした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・下絵は絵の得意な児童が中心になっていたが、作業が進むに連れて、分担したり協力したりして作業を進めていた。 ・どのグループも集中した真剣な様子で、時には楽しそうに作業を進めていた。完成すると、全員が声を上げて喜んだ。 	総合
鑑賞	1～2月	<ul style="list-style-type: none"> ・オーストラリアの友達が描いた絵を見て何の祭りを予想した後、インターネットでそれぞれの祭りを調べた。 ・調べても分からなかった祭りはオーストラリアの歴史と併せて学ぶことで理解することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・クリスマスやイースターは絵からすぐに予想できたが、調べていくとさらに詳しい様子に分かって楽しそうだった。 ・アンザックの日やオーストラリアの日は、児童から調べてもよく分からなかった、という声もあったため、教師からその歴史的背景を伝えた。社会で学習した日本の歴史を想起しながら聞き、改めて平和な世界をつくりたいという思いを強くし、国際理解・協力への関心も高まった。 	総合

■学習目標と成果はどうでしょうか？

つきたい力・指導目標	重視	先生の手応え	そう感じた場面・理由
自文化の理解		5・④・3・2・1	相手国に紹介できるように、日本各地の祭りの良さや特徴を調べてまとめた。
異文化の理解	2	⑤・4・3・2・1	共通点や相違点を見つけながら、相手の文化やその歴史的背景を調べた。
コミュニケーション力 (説明・共感・英語)	3	5・④・3・2・1	英語の授業で学んだ表現を積極的に使い、絵や写真を見せながら話していた。
情報活用能力 (情報収集・発信)	5	5・④・3・2・1	インターネット検索の効果的な調べ方が身についた。パワーポイントを作成した。
人間関係をつくる (学級内・交流相手)	1	⑤・4・3・2・1	相手国を知る中で違いを当たり前と捉え、学級内でも認め合う姿が見られた。
協働する力 (役割分担・協力)	4	⑤・4・3・2・1	絵の得意不得意に関係なく、全員がグループで協力して壁画作成に取り組んだ。
学習を追究する意欲		5・④・3・2・1	どの児童も相手国に対する関心や活動に対する意欲がどんどん強くなっていた。
表現力 (伝えたいことを絵で表す)		5・④・3・2・1	調べた祭りの魅力が伝わるような絵をグループで工夫して描いていた。
作品を鑑賞する力		⑤・4・3・2・1	絵から相手国の文化を想像しその歴史的背景を調べ理解を深めることができた。